

議会だより

フットサム

※「フットサム」とはアイヌ語でフット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第107号 2022年5月2日

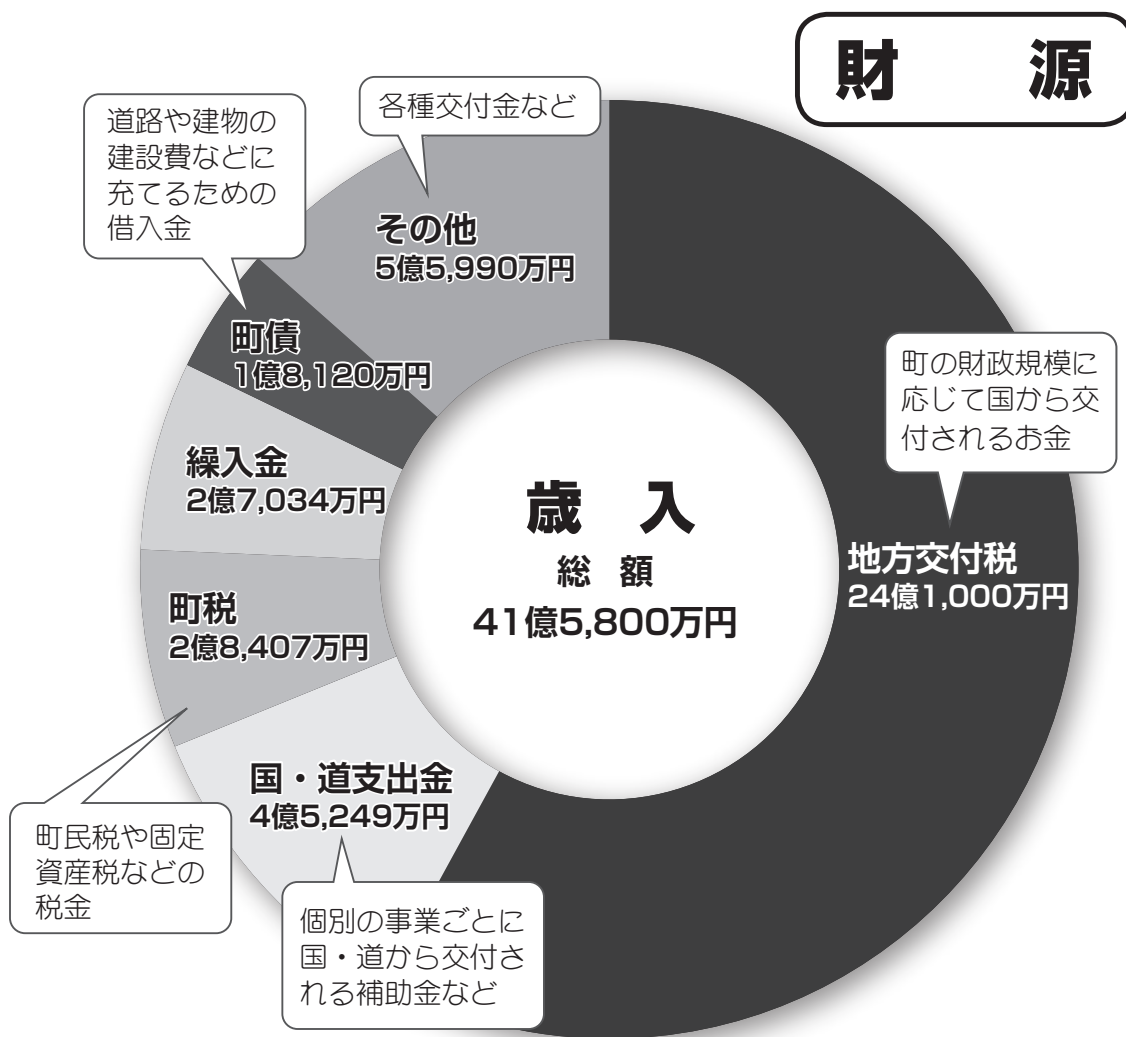
新中学生体育授業
表紙の説明（16ページ）

- p2 令和4年度骨格予算決まる
- p6 こんなことが決まりました ～子どもへのワクチン接種は～
- p8 一般質問 6議員が登壇
- p15 産業教育常任委員会 公営住宅等中間報告
- p17 Topic議会 ～工事箇所視察他～
- p18 町民インタビュー聞かせて ～おいしいメロンを作りたい～

まる

一般会計 【前年度比7.99%減】 41億5800万円

財 源

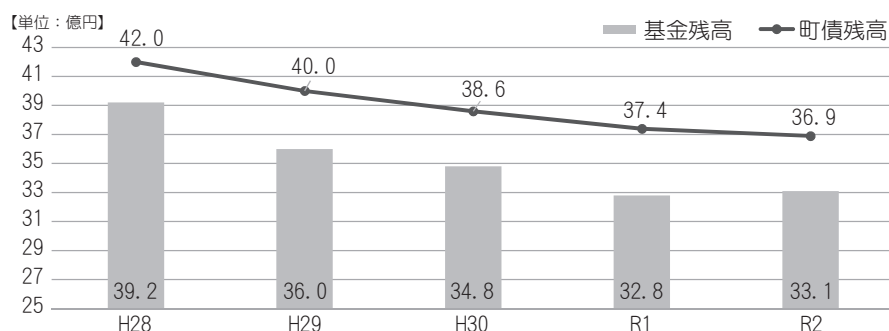


令和4年度の一般会計・5特別会計は、3月11日～16日の間、議員全員で構成する予算審査特別委員会（酒向勤委員長・石田利美副委員長）で慎重に審議され、

いづれも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。
予算審査特別委員会での質疑を抜粋して掲載しておりますのでご覧ください。

基金及び町債年度末現在高の推移

一般会計における基金残高と町債残高の推移です。



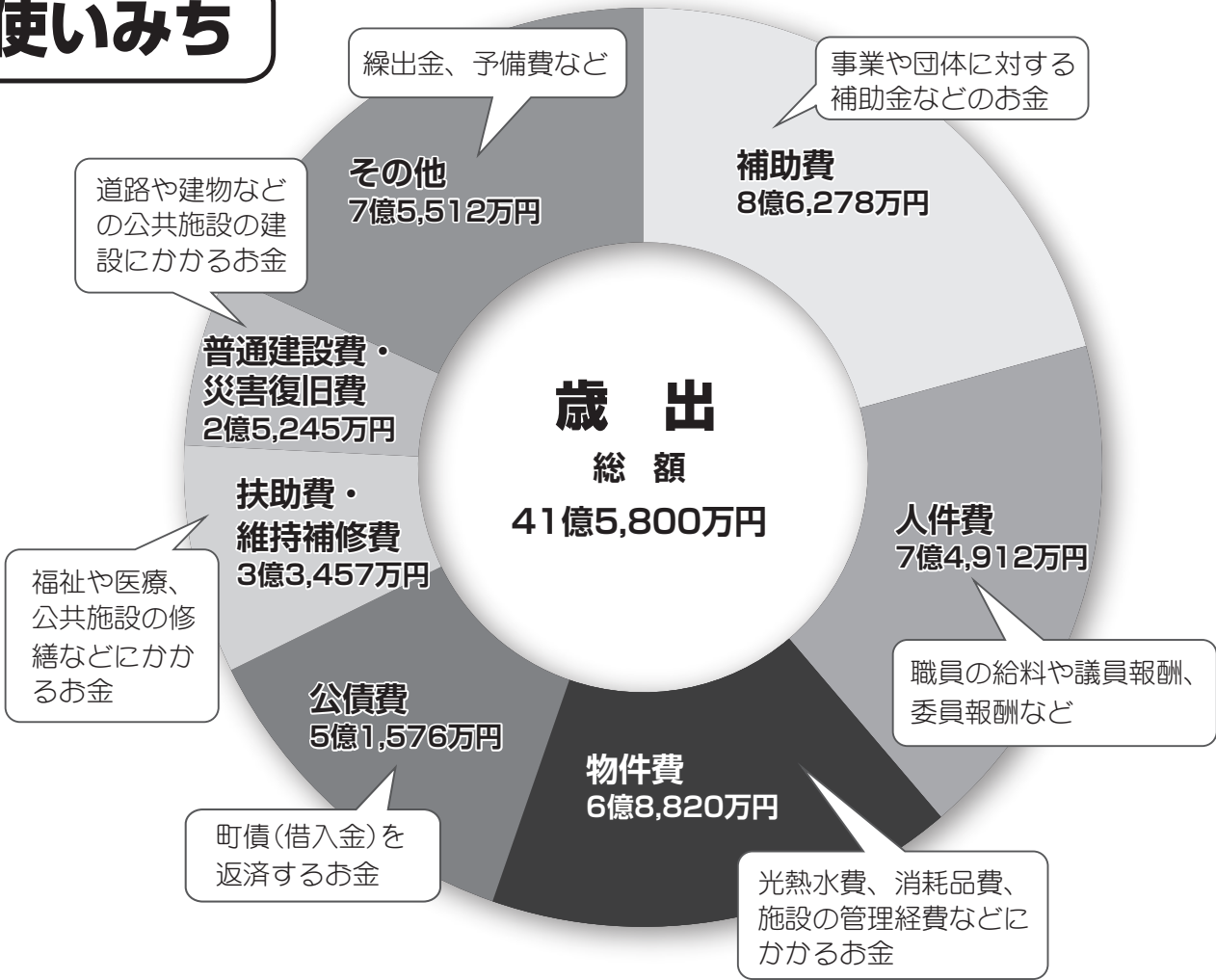
町民一人当たり
(R2国調(速報) 3,193人)

基金残高 104万円
町債残高 116万円

令和4年度骨格予算決

骨格予算とは・・・政策に係る収支を除き人件費等義務的経費を主体として必要最小限の収支のみを計上する予算。町長の改選直前に作成されることが多い。

使いみち



令和4年度各種会計予算額

(単位：千円)

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康 保 険	簡易水道	公共下水道	後期高齢者 医 療	介護保険
予算額	4,158,000	1,810,420	764,700	151,850	104,870	68,400	720,600
前年度比	-361,000	-192,700	-30,300	-17,050	-140,330	-2,750	-2,270

予算 審査 Q&A

除雪の支援を

☆除雪支援事業委託

(347万円)

Q 利用実績と事業者の数は。

A 玄関前除雪39件、屋根・バルコニー除雪が35件。

事業者は企業が4社と個人で5名の方。

Q 課題も多いようだが、持続可能な事業にしたい。

A 事業者の確保が大きな課題となっている。また利用者に分かりやすくなるよう今年度制度の見直しを行う。

☆公共施設LEDリース

(288万円)

Q 役場庁舎や公民館等で行うLEDリース工事の発注方法は。

A プロポーザル方式で行う。

金額だけでなく工事の内容なども提案された上で決める方式。

Q コロナ禍で半導体などが不足しているが、影響は無いのか。

A 遅れが出ることも想定している。

☆避難所看板作成委託

(54万5千円)

Q どのような物を何箇所設置するのか。

A 昨年ハザードマップを更新したので、災害の種類（大雨・地震等）ごとに避難所として使用できるかどうかを示すための看板を18箇所設置する。

Q 災害の種類によつては避難所が使用できなくなるのか。

A 新たなハザードマップは1000年に1度の規模の大雨などを想定しており、水害の場合は浸水想定が今までよりも広いため使えない避難所が出てくる。

啓発の意味も込めて看板を設置する。

Q どのような看板をどこに設置するのか。

A 道道鷹栖線と20線の交差点は数年前から片

☆交通安全看板等設置

(56万9千円)

Q どのような看板をどこに設置するのか。

A 道道鷹栖線と20線の交差点は数年前から片

側のみ一時停止となっており、「一時停止」と「この先交差点注意」の啓発看板を設置する予定。

Q 元々一時停止があった交差点に看板を置くということだが、一時停止を戻すことはできないのか。

A 公安委員会が現場を確認して判断したと思うが、その経過をもう一度確認したい。

注意喚起の看板を付けて欲しいという地元民の要望もあったので、住民の不安を軽減できるように方法を確認していきたい。

☆リサイクルセンター

のストックヤード及び計量棟新築工事

(6600万円)

Q 粗大ごみが有料化になった後の、料金の支払い方法は。

A トラックスケールで計量をし、現金払い。後日支払いの場合は納付書で後納できるようにする。

Q 一般ごみの有料化については。

A 現在所管委員会でごみ袋の大きさや単価を協議をしており、6月定例会前には概要を説明する予定。

その後町民への説明会も予定している。



▲ 8号道路14線手前看板

塩狩峠周辺整備

☆塩狩峠周辺整備

(1331万7千円)

Q 公園に自動販売機を設置できないか。

A 利用頻度がどの程度になるかわからないが、設置場所や大きさなどを設置業者と現地を見て検討する。

Q 今後この公園を維持する管理費はいくらか。

A 芝の管理や千本桜の維持などで年間230万円ほどかかる見込み。

☆三笠山大学

Q 学生が少ないが今後の計画は。

A 令和4年度の入学希望者はおらず、他の自治体も参考にし、新たなステップへ見直しを行う時期にきている。

☆和寒町フードツーリズム推進協議会事業

(1575万4千円)

Q 新たな物産展事業「ぎょうざ・回鍋肉定食コラボ事業」の内容は。

A これまで越冬キャベツのコラボ事業が少なかつたので、新たに取組む。札幌市内の人氣中華店3店舗で行う予定。

Q 特産品のパンフレットは、何年おきに何部作成するのか。

A 平成27年、平成30年に1万部ずつ作成しているが、在庫が減ってきているので、内容を更新して1万部作成する。

パンフレットは食と観光情報案内所や産業振興課などにも置いて町民にもPRしていく。

☆図書館

(1643万2千円)

Q 貸出冊数の推移は。

A これまで町民一人当たり9冊程で推移していたが、令和元年度からコロナ禍の影響もあり徐々に下がり、令和3年度は町民一人当たり7冊程となる見込み。全道平均は1人あたり5冊程度なので、和寒町は依然高い貸出冊数を保っている。



▲町立図書館内

反対

石田 利美 議員

大事な一般会計の予算だが塩狩峠公園の件で納得できる内容ではなかった。これからしっかりと町民に理解してもらおうように努力していただきたいと思い、反対する。

一般会計

討論

介護保険

賛成

中原 浩一 議員

総合的に考えて町民の福祉の向上と安心して暮らせるまちづくりのための予算ということで賛成する。

反対

石田 利美 議員

町長が2期目の任期中に芳生苑を建て替えたいと述べていたが、現実はまだ遠い。令和4年度の繰入金金は1億2千万円で財政的には重たい。現時点ではなかなか賛成はしづらく反対する。

賛成

酒向 勤 議員

多岐の事業に渡り、難しい案件に取り組んでいる。現在働いている職員のことも考え、本年度の事業計画が出された。社会変化に対応する芳生苑を作る対策をお願いし賛成する。

3月 定例会

あらまし

こどもへのコロナ ワクチン接種は

補正予算

【令和3年度国民健康保険特別会計補正予算】

事業費の確定による執行残の減額などで、保険事業勘定から941万5千円、診療施設勘定から1289万5千円の減額補正を可決しました。

主な質疑

問 現在18歳以上の3回目のワクチン接種が始まっているが、5歳から11歳の小児へのワクチン接種はどのように進めるのか。

答 国から小児接種を進めるよう通知があり、色々な接種方法について検討してきた。士別市から示された

集団接種に和寒町も一緒にさせて頂く。

問 コロナ患者が上川管内でも増えているが、接種を早めることはできないのか。

答 小児のワクチン接種については小児科医が行うことが望ましいことから、他町村でも接種が難しい状況になっている。士別市の接種日程の中で希望者に早めに打っていただけるよう進めていく。



令和3年度各会計補正予算一覧表

(※1万円未満切捨て表記)

会 計 別	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	3346万円	50億715万円
特別会計	国民健康保険(保険事業勘定)	△941万円 5億3996万円
	国民健康保険(診療施設勘定)	△1289万円 2億4108万円
	簡易水道事業	△5万円 1億6774万円
	公共下水道事業	230万円 2億2615万円
	後期高齢者医療	△370万円 6744万円
	介護保険(保険事業勘定)	△4725万円 5億7695万円
	介護保険(サービス事業勘定)	1942万円 1億3650万円

【令和3年度一般会計補正予算】

減債基金積立金や、介護サービス事業勘定繰出金、ストックヤード及び計量棟新築工事実施設計業務委託など、総額で3346万円の増額補正を可決しました。

【令和3年度介護保険(サービス事業勘定)補正予算】

芳生苑入所者の減少により、拡大する減収の赤字を埋めるため、指定管理料の追加など総額1941万円の増額補正を可決しました。

令和4年第1回定例会は、3月2日から3月16日にかけて15日間の会期で開催しました。3月2日は市政執行方針・教育行政執行方針が述べ

られ、令和3年度各会計補正予算などの議案審議をし、3月7日には条例の一部改正などの議案審議をしました。

条例改正など

【和寒町公園設置及び管理条例の一部改正について】
(賛成8名・反対1名)

塩狩温泉跡地周辺整備事業で整備した周辺地を「塩狩峠公園」と名付け、公園として設置する条例の一部改正を可決しました。

主な質疑

問 公園として整備したのならば常設のトイレは必要なのではないか。

答 水道が引かれていない地域なので水関係の調査が必要のため、トイレの設置については時間をかけて検討をしていく。

またイベントなどを行う際は仮設のトイレを設置し、対応していく。

【国民健康保険和寒町立診療所医師の給料について】
(全員賛成可決)

町立診療所の新たな副院長の給与を定める議案の提出がなされ、可決しました。

主な質疑

問 前任の医師より給与が低いのは何故か。

答 医師としての勤務年数の差があるため、それに準じた給与を定めている。

決議案

【ロシアによるウクライナ侵攻についての決議】
(全員賛成可決)
和寒町議会としてロシアによるウクライナ侵攻についての決議案を提出し、それを可決しました。

みんなの声を国政に

公益に関わる次の2件について、議員から意見書案を提出しました。
第1回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出しました。

水田活用の直接交付金見直しの再検討を求める意見書

提出者：谷口勝弘 賛成者：中原浩一、石田利美、村岡敏一、池澤哲也 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、
(要旨)

この度示された政府の方針は、長期間水張りされていない水田を交付対象から除外する他、牧草や野菜への転作に伴う交付金を大幅に減額するとの内容です。

今後、この方針が実施されれば本町の少なくない農家が経営困難に陥りかねません。また農業経営への大打撃のみならず、関連産業への影響等、農業を基幹産業とする本町においては地域経済への影響が甚大になると予想されます。地域農業の実態に即した政策の転換と水田活用の直接交付金の見直し方針の再検討を強く求めます。

燃料等の価格高騰対策及び水田活用交付金の見直しに関する意見書

提出者：中原浩一 賛成者：石田利美、村岡敏一、池澤哲也 採決結果：可決（全員賛成）
提出先：内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣
(要旨)

ロシアはウクライナに対する軍事侵攻に踏み切り、現在でも原油価格の高騰が続いています。

農業用に使用する軽油は、農作業等で使用量が増加することから、価格上昇分を補填する対策を強化し、燃料価格高騰により各種生産資材（肥料、飼料など）や農業用施設などの資材価格も高騰し、農業経営を圧迫していることから、農家負担の軽減を図る対策を講ずること。

水田活用の直接支払交付金は、今後も必要な予算を確保、運用し、同交付金の見直しにあたっては各地域で事情が大きく異なるため、生産現場の実態に考慮したきめ細かな対応を図ることを要望します。

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。

※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質 問 事 項	ページ数
小野田久美子議員	①小中学生が通学利用するバスの改善は ②町立診療所と特別養護老人ホームの早期経営改善を	9ページ
中原 浩一議員	①新年度予算と農業対策は ②当町での温暖化対策は	10ページ
池澤 哲也議員	①新規就農対策は	11ページ
谷口 勝弘議員	①和寒町のいじめ対策は ②保養センターの未来は	12ページ
村岡 敏一議員	①本町の観光推進に効果的な事業とは	13ページ
石田 利美議員	①町立診療所の新たな取り組みは ②芳生苑の今後の方向性は	14ページ

問 小中学生が通学利用するバスの改善は 答 安全確保と利便性向上に配慮し運行する

問 町立診療所と芳生苑の早期経営改善を 答 芳生苑は年内に方向性を見極める



小野田久美子議員



小中学生が通学利用するバスの改善は

児童生徒が、安全安心に通学できるための対応として、

①農村地区は、雨や雪で吹きさらしになる事があるので、小中学生が利用するバス停に待合所の設置を。

②始業時間ぎりぎりにバスが到着することもあり、落着いて授業を受ける準備の時間を考えると、遅くても始業時間の10～15分早く学校に到着できないか。

③小中学校に入学後、町営バスの停留所の利用案内をしているのか。

奥山町長

小中学生の登校については、関係機関や各種団体の協力をいただき、交通安全に関する取り組みを積極的に進めてきた。

今後も安全性の確保と利便性の向上に十分配慮しながら、適切な運行管理に努める。

沓澤教育長

①小中学生が利用するバス



▲町営バス運行のようす

停10箇所の内、5箇所に待合所は設置されている。

待合所の設置について、関係部署と協議を進めたい。

②昨年4月からバス到着の記録を取っており、小中学校ともほぼ予定時刻に到着しているが、冬道などの安全走行により始業時間を過ぎて到着した場合でも、学校では遅刻や欠席扱いにしていない。

バスの開始時間を早めることについては、利用者全体への影響を含め、可能かどうか検討したい。

③小学校では、年度当初にバス利用の説明会をしているが、中学校では今年の新入生から説明を行う。

町立診療所と特別養護老人ホームの早期経営改善

今後とも一般会計から町立診療所や芳生苑・健康苑を運営する社会福祉協議会へ、多額の繰り入れがある事を考えると早期の改善が必要では。

奥山町長

令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、患者の減少は続いているが、今後、常勤医師が2名体制になることで、患者数の増や検診の受け入れ拡大により、診療所の経営改善につながることを期待している。

芳生苑の収支計画の中で、令和4年当初の入所者を80人と見込んでいたが、現状では60人程度となっている。

町立病院の診療所化により、医療を必要とする方が他の医療機関へ移ったり、介護が必要となる前から都市部に転居される傾向がみられる。

社会福祉協議会では、人件費や光熱水費など様々な経費の節減に努めていただいており、町として今後も利用者に



▲芳生苑の多床室

対する福祉サービスの継続と職員の雇用環境を維持するため、支援していく。

芳生苑は、建設後46年が経過しており、年内のできるだけ早い時期に方向性を見極める。

○再質問

町の医療を守るために、町長が決断しないと、今の医療体制は保てないと思うが。

奥山町長

コロナ禍では、医師2名体制だが、終息後の想定では難しいと思う。

医師と相談し、町民の利便性をなるべく確保し、しっかりと運営努力していきたい。

問 新年度予算と農業対策は

答 6月定例会において事業予算を計上する

問 当町での温暖化対策は

答 行政はもとより、町民全体で取り組むべき課題



中原浩一 議員



新年度予算は

町長が再任されたので、将来を見据えた新たな政策予算の計上を期待し、町長の所見を伺う。

奥山町長

選挙で掲げた住んで良かった、住み続けたいと思う魅力ある街へというテーマに沿って、医療費無料化の拡充、将来にわたって持続可能な自治体にしていくという大きな責任を念頭に、6月定例会において事業予算を計上する。

○再質問

昨年の11月25日、農水省は『水田活用の直接支払交付金の見直し(案)』を唐突に公表し、内容は「過去5年間で一度も水張りしていない水田農地は交付対象外」などを示した。

11月30日の見直し事項で、『今後5年間で水張りしない農地は交付対象外』などと変更した経過にあるが、過去5年間だとすると本町への影響はどれくらいだったのか。

また、今後5年間になつて

もブロックローテーションを基本とすることから、過去の一般質問でも大区画整備が必要と町長に質問したが、その後の経過は。

奥山町長

過去5年間水張りしていない農地を想定して試算すると、その影響額は単年で約3億7,000万円、町民税では約2,300万円の減収が見込まれたと考えている。

次に、農地の大区画化については、令和2年第3回定例会以降、国営事業を所管する国交省北海道開発局旭川開発建設部をはじめ、道営事業を所管する上川総合振興局などに出向き、大区画化に関する情報交換に努めてきているほか、北海道土地改良事業団体連合会上川支部の役員の圃場にも出向き、大区画化による効果や課題などについて意見交換を行ってきた。

温暖化対策は

今回、町政執行方針でゼロカーボンシティを宣言したが、どのような取り組みを考えているのか。

奥山町長

温室効果ガス排出量の削減対策として、公共施設、街路灯などのLED化のほか、交流施設ひだまり、エココテージへの太陽光発電、ヒートポンプ暖房の導入、役場庁舎などへの木質チップボイラーの導入を行っており、さらには、公用車や機械、設備などを新たに導入する場合、省エネルギーのものに入れ替える、化石燃料から地域資源を活用した再生可能エネルギーに転換するなど、具体的な取り組みを進めてきている。

二酸化炭素吸収源の確保対策については、森林における人工林の計画的な伐採や着実な植林、手入れが行き届いていない森林の整備をしている。また、農地及び草地土壌の炭素貯留力を高めるため、稲わら等の作物残渣を活用した



▲エココテージ太陽光パネル

堆肥、緑肥などの有機物の施用による土づくりも重要な取り組みである。

本町における温室効果ガス排出量の削減については、我々行政はもとより、町民全体で取り組むべき課題であり、町民一人ひとりの意識をさらに高めていただけるよう、積極的な普及啓発に努めていく。

池澤哲也議員



問 新規就農対策は

答 新たなサポート体制を整備する

新規就農対策は

高齢化や後継者不足による農家戸数の減少が続く中、担い手の育成確保が大きな課題となっている。

3期目となる奥山町長は、地域おこし協力隊制度を活用した新規就農者の受入による、農業経営の第三者継承を推進したいと述べられているが、どのような進め方をするか伺う。

奥山町長

平成2年から農村生活体験事業による都市部女性の受入れに取り組み、一定の成果はあったが、近年受入農家の減少などにより、事業継続が難しい状況にある。

また、農業活性化センター農想塾が担ってきた、農業後継者育成研修事業は、研修生の応募や採用が見込めない状況にあり、これらの事業見直しを考えている。

後継者のいない農業者が、家族以外の方に、農地や技術を継承する第三者継承を推進するため、新たな事業を検討

している。

新しい事業の創設にあたり、地域おこし協力隊制度を活用した就農希望者の募集のほか、受入にあたっては、町をはじめ、北ひびき農協や農業委員会、農業改良普及センターなどの関係機関との連携と協力により、就農希望者のサポート体制を整備すること、さらに国の制度に結びつける事が重要と考えており、具体的には、4月に着任する予定の北海道からの派遣職員を中心に検討を進めたい。

○再質問

第三者継承の課題として、継承相手とのマッチングや地域との信頼関係構築などが大きな課題となる。

成功事例として、山形県大江町という地域の取組は、受入農家を中心とした受入農家協議会を立ち上げ、研修生と受入農家、地域農家との繋ぎ役として、新規就農者の定着に大きな役割を果たしている。

本町もこのような農業者組織立ち上げの支援を、検討で

きないか。

奥山町長

他の成功事例も含め、道からの派遣職員を現地に派遣させるなどして、本町に活用できるか勉強したい。

○再質問

相談窓口の設置について、窓口のワンストップ化により、相談者の負担軽減や満足度の向上を図る必要があると考えるが。

奥山町長

活性化センターに1名増員をして、新規就農者の受入れ体制の強化を考えている。また、道から派遣予定の職員は、産業振興課への配置を考えている。

基本的な窓口は活性化センターとする予定であるが、関係機関とも今後協議して、決定したい。

○再質問

夫婦で就農を希望する場合、夫婦2人とも、地域おこし協力隊として受入は可能か。

産業振興課長

現在、地域おこし協力隊に配偶者がいる場合には、配偶者加算をプラスして報酬を支払う形となっている。

奥山町長

これまで、そのような例はないが、夫婦それぞれを協力隊として受入できるか、国の判断も含め、今後研究したい。



▲農業活性化センター（農想塾）

問 和寒町のいじめ対策は 答 乗り越えられる取り組みに転換



谷口勝弘議員



問 保養センターの未来は 答 早期に抜本的なあり方を検討

安心できる教育環境を

近年全国的にも影響があった事案もあり、本町でも子どもの教育環境を心配する方がいるが、いじめ防止対策の現状を伺う。

沓澤教育長

いじめを受けた子どもの立場に立ち、校内のいじめ対策組織を十分活用して、客観的に判断して対応している。

冷やかしからかい、悪口、仲間外れ、集団による無視、遊ぶ振りをして叩く、金品を隠す、携帯電話等で誹謗中傷や嫌なことをするのも、いじめと認知している。

また昨年11月に新たにいじめの認知項目を付加するなど、基本方針の一部を改正し、12月の総合教育会議の中で協議した。

子どもたちの言動から、問題のある児童生徒を見つけて、対処しようとする治療的な発想で解消する取り組みから、教育的な発想ですべての児童生徒に乗り越えさせる取り組みに転換することが大切だ。

○再質問

いじめといえば隠べいというイメージがついている。

その影響はテレビや動画配信の影響も大きいと思うが、どのように考えるか。

沓澤教育長

情報教育、道徳教育、あるいは学校教育全体の中で、いじめについて指導するときの要素としている。

情報を取り入れるときは、十分注意しなければならぬと認識している。

○再質問

いじめ問題の最高責任者は首長だが、責任を分担することも考えてはどうか。

奥山町長

重大ないじめ問題が起きることを想定するより、いじめが起きない環境を作ることが一番大事だと思っている。学校や教育委員会だけでなく、町民のみなさまも子どもたちを見守っているので、総合的に取り組んでいきたい。



保養センターは

建設から42年が経過し、早急な建て替えが必要と考えるが。

奥山町長

施設の改修は、様々な箇所で老朽化が進んでおり、大規模改修は難しく、施設の運営維持が数年で厳しくなる。

今後の利用者数や、施設の状況を踏まえて、できるだけ早期に、抜本的な在り方を検討する必要がある。

○再質問

保養センターが町民の保健

衛生・健康保持という役割を一定数終えているとすれば、レジャー的な要素を取り入れて、町外の方にも人気が出るような施設を目指したほうが良いのでは。

奥山町長

ほかの自治体が第三セクターで運営している入浴施設は、相当厳しく後悔しているところが多々だ。

8年前に郷土資料館と、入浴施設の合築型で建てるという議論もあったが、私の考えで止めた。

町民の健康衛生環境を守る意味では、代替施設は必要であるが、利用数が見込めないのならば、建て替えとは違う方法を検討したうえで、議会と相談する必要がある。



村岡敏一 議員



問 本町の観光推進に効果的な事業とは

答 物産展事業や企業連携事業を継続する

和寒町フードツーリズム
推進協議会

和寒町フードツーリズム推進協議会の事業内容と成果、今年度においての事業をどのように計画しているのかを伺う。

奥山町長

平成27年当時、国が推進する「地方創生総合戦略」とインバウンド等、交流人口増を積極的に推進する、道の「食」と「観光」の連携を背景として、本町では観光資源を生かした「着地型観光推進協議会」を設置。その後令和元年に、関係機関の連携を強化し特産品や観光振興を図ることを目的に「和寒町フードツーリズム推進協議会」を設置した。

越冬キャベツ収穫体験や玉入れ体験、カボチャやキャベツ料理などを組合わせたモニターツアーを年に複数回実施するなど本町の特徴を活かした取り組みを進めている。

食に関しては、農産物や加工品等、生産者や関係事業者と連携してPRに取り組み、



▲モニターツアー

札幌で開催する物産フェアでは問い合わせも多くリピーターが増えている。

本町の食資源の付加価値が高められ大手企業との繋がりが広がってきており、令和4年度事業においても、物産展事業や企業との連携事業、PRムーシヨン動画制作配信等行っていく。

○再質問

町外のまちづくり応援寄付者への返礼品には町内の農産物が多く使われており、良きPRになっている。

そこで、返礼品を活用した観光事業への展開は考えられないのか。

奥山町長

以前、町内での宿泊と体験ツアーの返礼品があったが新型コロナウイルスの影響もあり事業継続が難しいとの判断から中止した経過にある。

町としては「食」と「観光」を連携させた地域の特徴あるモニターツアーについて、コロナの状況を見据え事業展開していく。

○再質問

特産品振興事業の内容は。

奥山町長

これまで、ペポナッツを例にあげると、商品PRと販売促進のため、パッケージのデザインやレシビの開発、企業と連携した新商品開発（味覚糖・惣菜コロッケのまんま）、旅行雑誌のプレゼント企画へのPR商品の提供等に取り組んでおり、令和4年度も予算計上し継続的に取り組んでいく。

○再質問

新たな加工品開発という中で試験栽培のホップに動きが

あったようだ。

産業振興課長

美深町のクラフトビール製造会社から、「上川北部の和寒町で栽培したホップを使ってクラフトビールを作ってみよう」との相談があり、試験開始から2年目のホップではあるが、買い取っていただいで製造していただく事になった。現在仕込み中で3月下旬には飲めるのではないかと。

奥山町長

3年目となる令和4年度以降は、道内にたくさんさんのクラフトビールを製造する会社が生まれているので、売り込みに歩いたり需要調査を実施し、将来的に農業者に作付けしていただく環境を作りたいと考えている。



▲和寒産ホップを使用したクラフトビール

問 芳生苑の今後の方向性は 答 できるだけ早く方向性を示す



石田利美議員



問 町立診療所の新たな取り組みは 答 総合診療科を検討したい

芳生苑の方向性は

奥山町長が就任以来、芳生苑を建て替えし、民間に移行したいと述べていたが、未だに方向性が見えてこない。

入居者や現場で働いている方、家族など色々な方面で不安視していることから、早期に打開策を出すべきと思うが、いつ頃になるか同。

奥山町長

芳生苑については施設の老朽化に伴い毎年のように設備の改修が迫られていたため、平成29年度以降、所管常任委員会において、道内各地の視察を重ねていただき、高齢者福祉施設の整備の方向性として「施設の老朽化に伴い現施設の全面的な改修は非常に難しいことから、新たな施設を整備することが望ましい」との調査結果報告を受け、その後町有地での建て替えの可能性なども含め議論を重ねてきた。

また施設の整備運営にあたっては、令和2年3月に設置された議会の「医療及び福



▲特別養護老人ホーム「芳生苑」

を経過しており、施設利用者の推移や介護従事者の確保、在宅福祉サービスの充実など必要な機能も勘案し、年内のできるだけ早い時期に方向性を見極めていく。

診療所の取り組みは

昨年4月から診療所に移行し、8月には副院長が一人上の都合で退職され、その後は山下院長と出張医師の派遣を受け、町民の医療に努めていただいた。新型コロナウィルス予防接種でも大きく貢献していただいた山下院長には感謝申し上げます。

町立診療所では4月1日から新たな医師が着任することとなり、新しい取り組みがあるか同。

奥山町長

昨年8月に副院長が退職されて以降、これまで常勤医師は山下院長ひとり態勢で、土曜診療や小児の予防接種、特別養護老人ホーム芳生苑の回診、新型コロナウィルス接種、健診、介護保険意見書の作成、

新入学児童内科健診など、多くの医療業務に従事していたのだが、4月1日から新たな医師が着任し、医師2人体制で運営できる見込みとなっている。

このことによって、新型コロナウィルス接種などの状況にもよるが、山下院長の負担が軽減されることに伴い、夜間診療の再開や健診受診者数の制限緩和についても検討していく。

また新たな医師には4月以降、内科を中心に診療していただく予定であるが、山下院長と新たな医師は各種の専門医資格も取得され、外科も内科も診療できることから、今後意見を伺ったうえで、内科、外科とを分けて総合診療科としてできる体制についても検討したい。



産業教育常任委員会

公営住宅等中間報告

若草団地の再編成

若草団地の再編整備計画を進めるに当たって、大通りに高齢者向け単身住宅を建設し、流動化を図ったうえで、令和元年度から若草団地の整備が行われています。令和3年度分は間もなく完成となります。

若草集会所の建設

昭和51年に建設された若草集会所は、かねてから建て替えの要望が自治会から出されていた。建設にあたっては、行政と自治会役員等との協議を重ねられ、令和3年12月12日に落成式を終えました。新たな集会所が、より一層の地域交流の核になることを期待します。

この建設にあたっては、地域コミュニティセンターとして、今回の若草団地再整備に係る国の補助金を活用しています。



目標年次（令和13年）世帯数・・・1,350戸

区分	持ち家	公営住宅	借家	給与住宅	間借り	合計
世帯数	899戸	301戸	91戸	42戸	17戸	1350戸
構成比	66.6%	22.3%	6.7%	3.1%	1.3%	100%

公営住宅等長寿化計画
目標年次（令和13年）の
公営住宅世帯数の想定は
表のとおりとなっています。

令和4年度以降の若草
団地建替予定

若草団地の昭和46年から昭和56年に建設された公営住宅は17棟66戸で、入居が32戸、入居可能で募集している空き家が10棟18戸、未募集の空き家が7棟16戸です。

今後の建替えについて入居者への聞き取り調査を行い検討した結果、全て建替えるのではなく、令和5年以降5年間の中で建替えの可能性があれば最大9戸の建設として進めることとしました。

今後の課題

今後は人口減少に伴う住宅事情の変化を調査し、そのニーズを把握し建設の実行・中止を判断する必要があります。

若草団地以外でも入居可能な空き住宅はありますが、長く空き家になると傷みが生じるため維持管理の方法を考えなければなりません。



1棟に全て入居されていない住宅もあることから、通路の除雪問題が懸案となっており根本的な解決が必要と思われる。

空き室に転居してもらい、1棟にまとめていく事が合理的とも考えられますが、引越費用や近所付き合い等を考慮しなければなりません。

このことは、各課連携した中で検討する必要がありますが、あると思われますので、横のつながりを持って解決策を作ることが望みます。

議会報告会 今年も延期

～安心安全を考慮して～

議会報告会は、平成22年に開催して以来、毎年1回以上は町民の皆様と意見交換して参りました。

今年3月21日で、まん延防止等重点措置は解除になりましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、安心安全を考慮し、今回もやむなく延期することと致しましたので、ご了承願います。

なお、今後については動向を見極めて開催する予定です。

議会動画



町民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開等を積極的に行うため、一般質問の動画を配信しています。

和寒町議会ホームページから閲覧することができます

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

お問合せ：gikai@town.wassamu.lg.jp

閲覧統計

令和3年12月定例会一般質問2名

- ・総再生回数 80回
- ・総再生時間 6時間48分

訂正とおわび

議会だより106号4ページ「稲わらは燃やさないのが原則で違反になる」は「稲わらを燃やすことは法律違反ではないが、焼却防止が求められています。」に訂正し、おわび申し上げます。

表紙の説明

和寒中学校1年生
体育の授業

今回の表紙は、和寒中学校1年生の体育館での授業風景です。

担任の先生の指示に沿って2人組になってバレーボールを持ったり、チームに分かれてボールを送ったりしました。

昔、バレーボールは真っ白でしたが、今はカラフルですね。



Topic 議会

1月25日開催

第1回町議会 臨時議会

人事

【副町長の任命】

保健福祉課長兼保健福祉センター所長の辻博幸氏を副町長へ任命することと同意しました。



辻 博幸氏

補正予算

【一般会計補正予算】

住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり10万円を支給する臨時特別給付金や保育所照明設備改修工事など総額7356万円の増額補正を可決しました。

主な質疑

問 今後の新型コロナウイルス感染症対策創生臨時交付予定額は。

答 令和4年度以降に町への交付予定額は8000万円で、商工業への経済対策やこれまでに取組んでいる事業に活用を考えている。

問 健康あんしんダイヤル24の利用状況は。

答 令和3年4月から12月までの利用は、118件で、内容はコロナ感染や発熱に対する相談などがあつた。

個人情報保護研修参加



1月27日に、町職員研修が開催され、議員4名も議員控室でリモート参加しました。

職場での具体的な例を挙げて理解しやすく、個人情報・プライバシー保護の意識を再認識できる内容だったと思います。コロナ禍ではありますが、今後も感染予防対策を講じながら職員研修を計画的に継続し、職員の資質向上に努めていきたいです。

所管事務調査報告

工事箇所視察

3月7日に常任委員会の所管事務調査報告として、設備や施設を視察しました。



▲圧雪車



▲若草自治会館



▲防災備品



▲ロータリ車



令和3年度は農村体験実習生として、令和4年度から和寒町の地域おこし協力隊を委嘱された坂口美洋子さんに、農業活性化センター農想塾にてお話を聞かせていただきました。



和寒町を選んだ理由は？

食の大切さを考えるようになり、自分で農業をやってみたいと思っていました。

そんなとき、農業情報サイトで和寒町の事を知り、実習生として応募することを決めました。

農業について全くの素人だったので、不安も多くなりましたが、住居の提供や農業実習の作業時間、休日などが素人の私にはすごく応募しやすい条件だったので、和寒町を選んだ理由です。

これからの活動は？

昨年、実習生の時に受入農家の佐藤さん(大成)にハウスメロン栽培をさせていただきました。

愛情深く一玉一玉、手間をかける姿に感動し、私も自分自身でおいしいメロンを作りたいと思いました。

現在、活性化センターでハウスメロンの栽培に向け準備を進めています。



無事に収穫できれば「チャレンジメロン」として、町内外の方に販売することを目標に頑張りたいです。

調理師免許やパターンメイキングの資格をお持ちですが、これらを活かした活動の予定は？

和寒町の特産品である南瓜などを使ったお菓子づくりに挑戦して、特産品のPRにつながる活動をしたいと思っています。

また、前職では障害福祉施設でパターンメイキング(衣服デザイン)を型

紙に起こす)やミシンの使い方などの技術指導をしていました。

その経験を活かし、町内で羊を飼育する方が増えているので、羊毛を使った小物など、和寒町のお土産品になるようなグッズ作りにもチャレンジしてみたいと思っています。

将来の夢は？

町内に憧れの農家さんがおられるので、そのような農業ができて定住もできたらと思います。



広報委員の一言

新型コロナまん延防止重点措置が終わり、国は感染予防をしながら行動制限の緩和をし、経済活動や日常を回復させる方針に舵を切りました。

新型コロナによる経済損失は、経済産業省によると対GDP(国内総生産)比で6.1%、約30兆円以上になるとの推定です。

国の2年以上に渡る移動制限や外出自粛が、経済に大打撃を与え、所得や雇用の減少、経済の悪化につながりました。

本町では令和4年度も様々な新型コロナ対策を実施する予定ですので、コロナ前までの経済に戻るような成果を期待したいところです。

町民の皆様には、うがい・手洗い・換気をするのもとより、コロナに負けない体力づくりをし、元氣にお過ごしください。(久美子)